

## 優秀賞

三方小学校4年

 上野日向子さん

## ●研究テーマ

## 花の水のすい上げ方

## 動機

家で育てているオクラにしばらく水をあげなかったら元気がなくなっていった、水をあげたら葉がびんとして元気になったので、花の水のすい上げについて調べてみたくなった。

## 内容

〈実験①〉しおれた花は水で元気になるのか→6時間後には葉がびんとして元気になった。花はゆっくり時間をかけて水をすっている。

〈実験②〉花は水をどのようにすうのか→食用色素で色水を作り、花をつけて観さつした。水はくきの外がわを通っていること、花びら全体ではなく花びらのすじ(花みゃく)にそって水をすい上げていること、葉やがくにも水がとどいていることが分かった。水につけてから6時間後には花に色がついていたが、20時間後にはもっと色がこくつした。

〈実験③〉花の種類によって水のすい上げ方にちがいはあるのか→うす緑のカーネーションを色水につけてみる。白い花と同じぐらいの時間で同じぐらいのこきの色がついた。

〈実験④〉2色の花を作ることができるか→くきを半分に切って赤と黄2色の水につけてみる。白い花は赤と黄の半分ずつにきれいにそまった。

ピンクの花は表はピンクのまま、うらは花みゃくにそって赤と黄の色が半分ずつつした。

## まとめや感想

・花によって花みゃくがちがうので、いろいろなまようが見れておもしろかった。とくにリンドウは、あみ目もよくなってきれいだった。

・半分ずつにそめた菊とガーベラは1色の時よりきれいになってうれしかった。

・花びらの数をかぞえたのは初めてだったので、67まいもあってびっくりした。

・花が好きなので、花のことがくわしく知れてよかった。

・夏だったからか、白い花があまり手に入らなかったのがざんねんだった。今度は白いガーベラなどを4色にそめてみたい。

